



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和 7 年 9 月 1 日（月） 岐阜県発表資料			
担 当 課	担 当 係	担 当 者	電 話 番 号
森林保全課	治山係	まんだに 萬谷	内線 4416 直通 058-272-8526 FAX 058-278-2707

～誰でもいつでも気軽に利用が可能に!!～ 航空レーザ測量により取得した 3 次元地形データを オープンデータ化しました

県では、山地の詳細地形や森林資源の把握などを目的として、平成 25 年度から航空レーザ測量により 3 次元地形データの取得を進めています。

このたび、「県域統合型GISぎふ」のホームページ内でデータを一般公開しました。

これにより、誰でもいつでもデータの利用が可能となり、利便性の向上と利用促進を図ります。

記

1 公開データの概要

下記 3 種類の 3 次元地形データを公開します。

①オリジナルデータ

航空レーザ測量により得られた、樹木や建物などと地表面の位置と高さを計測したデータ

②グラウンドデータ

オリジナルデータから樹木や建物などを除いた地表面のみの位置と高さを示したデータ

③グリッドデータ

グラウンドデータを補完し、地表面の位置と高さを 0.5 m 毎の格子状に示したデータ

2 公開日

令和 7 年 9 月 1 日（月）

3 ウェブページ

「県域統合型GISぎふ」

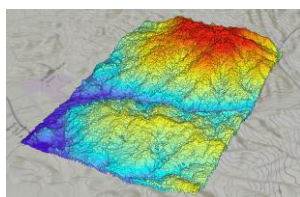
<https://gis-gifu.jp/gifu/Map?mid=7>

※「標高データマップ」、「航空レーザ」等で検索してください。

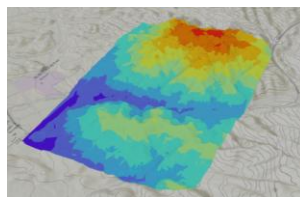
【航空レーザ測量の概要】

航空レーザ測量とは、飛行機から地上にレーザ光を照射して、広範囲に高密度・高精度の標高データを取得する測量方法のことです。

この航空レーザ測量で得られた標高データには、樹木や建物の上の高さや地表面の高さを計測したオリジナルデータと、地表面の高さのみを示したグラウンドデータ、グラウンドデータを基に格子状に点を配置したグリッドデータがあります。これらの標高データを使って、地形の判読や森林情報の解析、洪水シミュレーションなどの防災研究、ハザードマップ作成等に活用されています。



＜オリジナルデータ＞



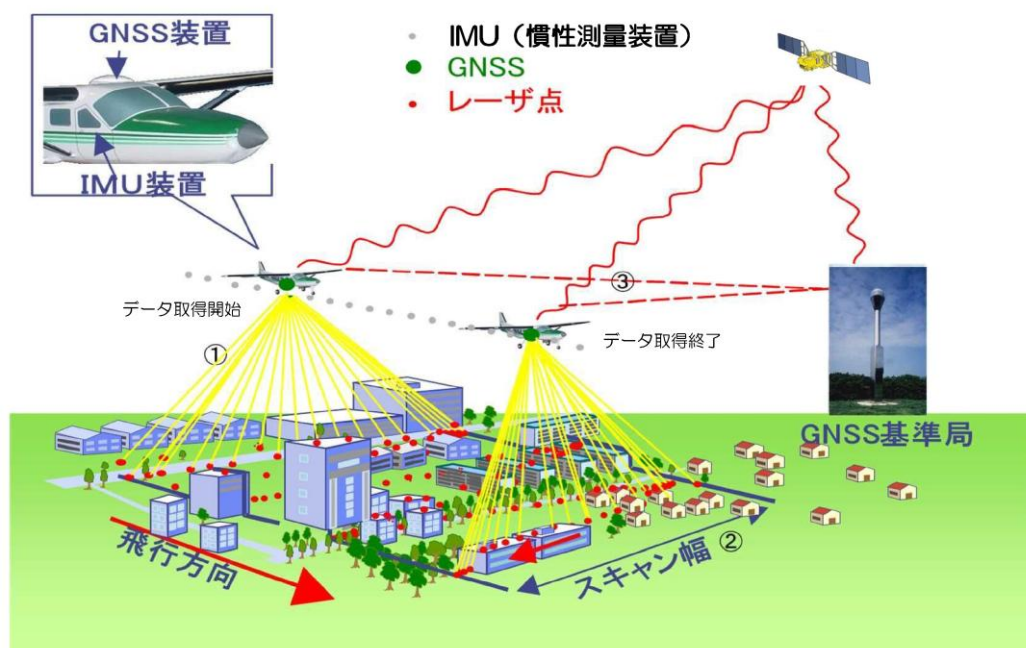
＜グラウンドデータ＞



＜グリッドデータ＞

【航空レーザ測量の仕組み】

- ①航空機からレーザ光を地上に照射し、反射して戻るまでの時間を計測して距離を測定
- ②レーザ光を左右に振りながら、带状に地表面の標高を算出
- ③全地球測位システム（GNSS）や慣性測量装置（IMU）などを併用し、航空機の高度・位置・傾き等を正確に把握 ※高さの精度は±15cm程度



※出展：国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/common/000143680.pdf>)